

大波乱の序盤戦、激戦を制したのはいつも優勝候補と言われながら勝てない手塚選手だった

2008 ROUND 3 D1 GRAND PRIX



手塚選手、地元鈴鹿で初優勝!

今や世界に誇る日本のモータースポーツ。それがD1です。毎戦毎戦、白熱したバトルが繰り広げられ、しかも速くカッコよくドリッていれば勝てるという非常に解かり易いコンセプトのお陰で、観客動員数は毎年更新されている状態です。実際の話、面白いですよコレ。駆け引きとかは勿論あるんだけど、基本はガチの勝負に徹する潔さがイイ。GTのように駆け引きに注意するあまり観客を置いてきぼりにするよりは100倍楽しい



稲葉Dai・土屋圭一・鈴木学と役者揃い踏みです。エンタメを十分に配慮した演出の上手さが集客数を延ばす要因か?



迫力の接近戦はD1の醍醐味です。地上の空中戦とはよく言ったものだ





R32の顔34。今回の手塚選手の単走は完璧でした



まさか末永選手が敗れるとは思いませんでした

毎回鈴鹿ではドラマが起こる。超高速レイアウトのコースを果敢に攻めるD1選手。でも路面は、当初はウエット



でクラッシュ続出。でも手塚選手を始めシード選手は皆さん見事なテクニックで走りきっていました。お見事です。個人的にノムケン・熊久保選手は特に応援していました。観たかったFRランエボも観れたしね。今度はパドックでEgルームを覗いて具を見てみたいです。今回は残念ながらノムケン・熊久保選手ともに敗れてしまいましたが、この両者の人気はD1を盛り上げている事は間違いないでしょう。今回は川畑・黒井のバトルや手塚・吉岡のバトルと好カードが続き、一步も引かないガチのバトルは見ものでした。吉岡選手のハチロクはこの鈴鹿で現役引退し、次期FXはSC430に決定済み。有終の美を飾るべく鬼のように速い！ハチロクの限界を越えていますよホントに

個人的には地元・日比野選手と、齊藤大吾の800馬力チェイサーが気になります。これでコントロールする術を会得すれば間違いなく優勝候補の一角に名を連ねるでしょう

